



平成 21 年 2 月 6 日

各 位

株 式 会 社 ソ ル ク シ ー ズ
代 表 取 締 役 社 長 長 尾 章
(コード番号：4284)

執 行 役 員
問 い 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 石 田 穂 積

TEL 03-6722-5020

運用有価証券評価損の計上ならびに過年度決算の訂正について

当社は、平成 20 年 12 月期の決算に係る会計監査において、監査法人より、当社および連結子会社が余資運用のため取得した債券のうち、従来、「満期保有目的の債券」として会計処理していた債券の一部と、「その他有価証券」として時価評価し、評価差額を全部純資産直入法により会計処理していた債券の一部（以下、これらの対象債券を「当該対象債券」という。）について、「当該対象債券は、会計上、当初元本を毀損する恐れのあるデリバティブを含む複合金融商品として扱うべきであり、各期末において時価評価した上で評価差額を当期損益に反映させる必要がある。」との指摘を受けました。

当社は、監査法人の指摘に基づき、当該対象債券の計上区分を訂正することとし、平成 20 年 12 月期決算（連結・個別）において、運用有価証券評価損（連結 142 百万円、個別 76 百万円）を営業外費用として計上するとともに、平成 18 年 12 月中間期以降の過年度業績についても、下記 2. 記載の評価損益を反映させ、下記 3. 記載の過年度決算短信等を訂正することといたします。

なお、本件運用有価証券評価損の計上による平成 20 年 12 月期業績への影響につきましては、本日付開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）当該対象債券は、平成 20 年 12 月末時点において、4 銘柄、取得簿価合計 499,460 千円です。

過年度決算の訂正の対象債券は、償還済みの 1 銘柄を加え、5 銘柄、取得簿価合計 599,460 千円です。

記

1. 平成 20 年 12 月期末の当該対象債券の評価損

	連結	個別
(A)平成 20 年 12 月期決算への影響額	142 百万円	76 百万円
(B)平成 19 年 12 月期の純資産(注) (A/B × 100)	4,186 百万円 (3.4%)	4,046 百万円 (1.9%)
(C)最近 5 事業年度の経常利益額（年平均）(注) (A/C × 100)	521 百万円 (27.2%)	464 百万円 (16.4%)
(D)最近 5 事業年度の当期純利益額（年平均）(注) (A/D × 100)	236 百万円 (60.1%)	219 百万円 (34.7%)

（注）純資産、経常利益額、当期純利益額は、本件による過年度決算数値訂正前の数値にて算出しております。

2. 平成 18 年 12 月中間期以降の決算に影響を与える運用有価証券評価損益の額 (単位; 千円)

	連結		個別	
	中間期	通期	中間期	通期
平成 18 年 12 月期	15,800	11,730	15,800	+1,040
平成 19 年 12 月期	+19,005	40,361	+1,920	24,506
平成 20 年 12 月期	62,665	142,034	47,230	76,194
合計	-	194,125	-	99,660

3. 訂正する過年度有価証券報告書、決算短信等

(1) 有価証券報告書

平成 18 年 12 月期 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

平成 19 年 12 月期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(2) 半期報告書

平成 18 年 12 月中間期 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

平成 19 年 12 月中間期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

平成 20 年 12 月中間期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(3) 決算短信および補足資料

平成 18 年 12 月期 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

平成 19 年 12 月期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(4) 中間決算短信および補足資料

平成 18 年 12 月中間期 (平成 18 年 1 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

平成 19 年 12 月中間期 (平成 19 年 1 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

平成 20 年 12 月中間期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

上記開示書類の訂正につきましては、現在作業中であり、確定次第速やかに開示いたします。

今般、株主、投資家をはじめとする関係者の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げますとともに、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上